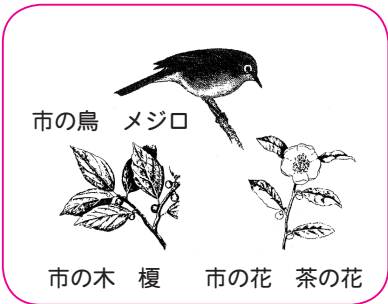




平成24年度 上半期の財政事情

お知らせします「市の財政」

市では、皆さんに市の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、毎年2回に分けて、予算の執行状況や市債の現在高、市税負担の状況などを公表しています。今回は、平成24年度上半期（平成24年4月1日から9月30日まで）の財政状況について、一般会計を中心にお知らせします。

表① 一般会計予算の執行状況（歳入）

収入の状況（歳入）

予算現額：272 億 3,210 万円
収入済額：121 億 7,250 万円 収入率：44.7%

□ 予算現額 ■ 収入済額



歳入その他の内訳

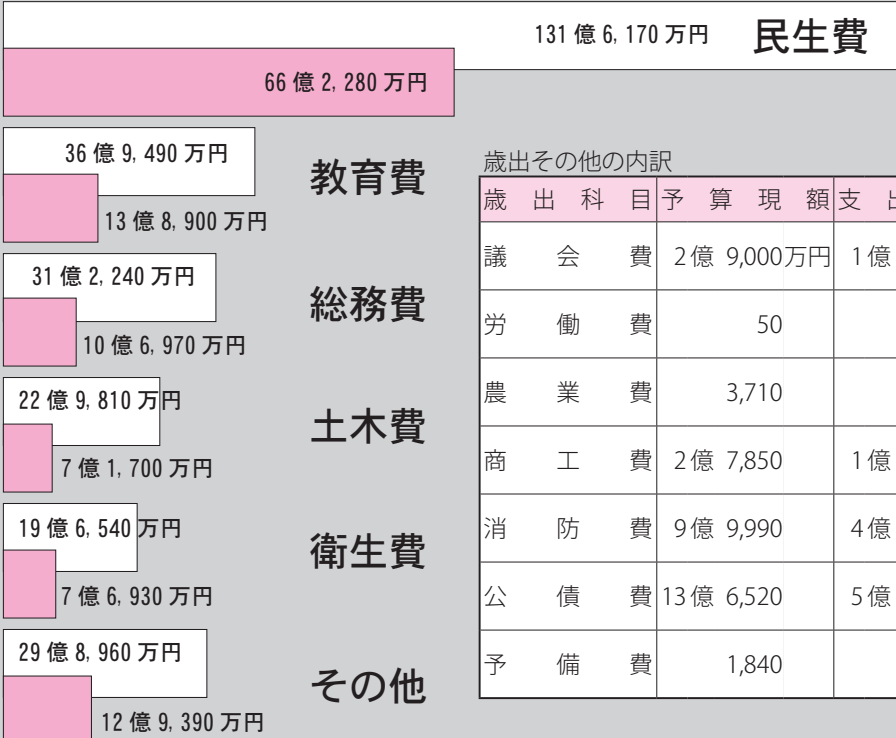
歳入科目	予算現額	収入済額	収入率
地方譲与税	1億 4,100万円	4,040万円	28.7%
利子割交付金	4,800	2,450	51.0
配当割交付金	2,300	770	33.5
株式等譲渡所得割交付金	480	0	0.0
自動車取得税交付金	8,700	2,490	28.6
国有提供施設等所在市町村助成交付金	4億 9,020	0	0.0
地方特例交付金	8,860	8,860	100.0
交通安全対策特別交付金	1,330	0	0.0
分担金及び負担金	3億 3,290	1 億 3,810	41.5
使用料及び手数料	2億 1,430	1 億 2,050	56.2
財産収入	8,480	8,150	96.1
寄附金	200	200	100.0
繰入金	8億 1,900	450	0.5
諸収入	2億 7,460	8,940	32.6
市債	19億 720	0	0.0

表② 一般会計予算の執行状況（歳出）

支出の状況（歳出）

予算現額：272 億 3,210 万円
支出済額：118 億 6,170 万円 執行率：43.6%

□ 予算現額 ■ 支出済額



歳出その他の内訳

歳出科目	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2億 9,000万円	1 億 5,700万円	54.1%
労働費	50	0	0.0
農業費	3,710	1,520	41.0
商工費	2億 7,850	1 億 5,720	56.4
消防費	9億 9,990	4 億 5,720	45.7
公債費	13億 6,520	5 億 730	37.2
予備費	1,840	0	0.0

一般会計予算の状況
一般会計の当初予算額は、261億9、810万円でしたが、前年度からの繰越明許費等及びその後の補正（4億8、767万円増額）を含めた現計予算額は、272億3、210万円となりました。

歳出では、都市核地区土地区画整理事業特別会計繰出金を2、220万円減額し、公共施設建設基金積立金を1億2、980万円、国都支出金過年度分返還金を1億2、700万円、道路新設改良費を4、230万円、財政調整基金積立金を3、870万円、公園整備事業費を3、500

収入の状況
一般会計の収入状況は、表①のとおりです。収入済額は121億7、250万円（同41・5パーセント）、及び負担金が1億3、810万円（同100・0パーセント）、繰越金が10億7、920万円（同100・0パーセント）などです。全体に収入状況は低率ですが、これは国や都からの補助金や市債などが確定していないことによるもので、これらは下半期に収入さ

支出の状況
一般会計の支出状況は、表②のとおりです。支出済額は118億6、170万円（同43・6パーセント）です。なお、今年度計画している各種事業などは着実に進んでいます。したがって、これらの事業の完了に伴い経費が支出されることにより、執行率も伸びるようになります。

（次ページへ続く）

本号の主な内容

- 平成24年度上半期の財政事情・・・1・2
- 参加者募集・・・4
- 自立した日常生活のために・・・6

〈表③ 市債の現在高〉				
一般会計				
区 分		現在高(万円)	構成比	
総務債		7,714	0.6%	
民生債		1億4,197	1.2	
衛生債		6億1,021	5.0	
土木債		16億 166	13.1	
教育債		8億9,832	7.4	
減収補てん債		1億3,424	1.1	
住民税等減税補てん債		11億6,345	9.5	
臨時税収補てん債		1億3,179	1.1	
臨時財政対策債		74億5,725	61.0	
合 計		122億1,603	100.0	

下水道事業特別会計			
区 分		現在高(万円)	構成比
公共下水道事業債		21億7,091	70.8%
流域下水道事業債		8億9,739	29.2
合 計		30億6,830	100.0

都市核地区土地区画整理事業特別会計			
区 分		現在高(万円)	構成比
都市核地区土地区画整理事業債		11億9,250	100.0%
合 計		11億9,250	100.0

〈表⑤ 基金の状況〉		
区 分		現 在 高
財政調整基金		4億3,000万円
公共施設建設基金		29億1,910
下水道事業建設基金		80
土地現金・債権・貸付金		15億1,410
開発基金土 地		42㎡
奨学資金基金		4,190万円
小口事業資金融資基金		2,800
生活資金(住宅用資金)融資基金		1,600
生活資金(生活用資金)融資基金		700
国民健康保険高額療養費貸付基金		700
市立学校災害医療費貸付基金		50
みどりの基金		2億7,670
高齢者福祉基金		580
庁舎等用地取得基金		2億8,550
介護給付費準備基金		3億2,250
ふるさと基金		1,720
再編交付金事業基金(子宮頸がん予防接種助成事業)		150
再編交付金事業基金(小学校教育用コンピュータ等活用事業)		1,700
教育相談室事業充実基金		620
中学校教育用コンピュータ等活用基金		2,970
妊婦健康診査基金		2,000
学校司書配置基金		860
多摩都市モノレール基金		3,000

市債の状況

市債の現在高は、表③のとおりです。公共施設の建設には、多額の資金を必要としますので、全額を市税や地方交付税、国や都の補助金だけで賄うことが難しいため、国や都、その他金融機関から長期にわたって事業費の一部を借り受ける方法がとられています。この借入金が「市債」です。

なお、市債には、現在利用する市民だけでなく、将来利用されるかたにもその負担をしていただくという意味もあります。

一般会計の市債在高を9月30日現在の人口で割ると、市民1人当たりの残高は、約16万9、610円となります。

市税負担の状況

市税負担の状況は、表④のとおりです。本年度の市税の予算総額は、96億2、270

基金の状況

市で管理している基金の状況は、表⑤のとおりです。

特別会計

特別会計予算の執行状況は、表⑥のとおりです。



〈表④ 市税負担の状況〉					
科 目		予算現額	収入済額	収入率	市民1人当たり負担額
市 民 税	個 人	33億6,940万円	18億4,060万円	54.6%	46,780万円
	法 人	4億4,720	2億8,250	63.2	6,210
固 定 資 産 税		44億 520	28億 250	63.6	61,160
軽 自 動 車 税		9,340	8,920	95.5	1,300
市 た ば こ 税		4億9,470	2億1,290	43.0	6,870
都 市 計 画 税		8億1,280	4億7,660	58.6	11,280
入 湯 税		0	0	0.0	0
合 計		96億2,270万円	57億 430万円	59.3%	133,600万円

〈表⑥ 特別会計予算の執行状況〉					
会 計 名	歳入歳出予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A	支出済額 C	執行率 C/A
国民健康保険事業特別会計	86億 9,210万円	38億 440万円	43.8%	38億1,840万円	43.9%
下水道事業特別会計	14億 6,850	6億2,400	42.5	5億 730	34.5
介護保険特別会計	39億6,020	18億8,850	47.7	14億6,600	37.0
都市核地区土地区画整理事業特別会計	7億8,610	1億 920	13.9	9,220	11.7
後期高齢者医療特別会計	9億1,070	4億1,840	45.9	3億1,660	34.8

市内の工場等における認可申請等はお早めに

工場等を新規に設置する場合や設備等を変更する場合は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例により、建物の構造や設備機械の配置をはじめ、公害の防止方法などを記載した申請書等を事前に市に提出し、認可を受けなければなりません。

また、市では、提出された申請書等により、事業内容や条例上の規制基準等に適合しているかを審査し、それに適合している場合は、認可等を行うとともに、事業者が公害防止のための指導を行っています。

すでに市内で工場等を設置されている事業者のかた又はこれから設置しようとして計画されている事業者のかたで、まだ申請等をされていない場合は、早めに申請等の手続きを行っていたきますようお願いいたします。

問い合わせは、市役所環境課（☎内線295・296）へ。

新青梅街道沿道地区まちづくり協議会の委員を募集！

12月3日(月)まで（必着）に応募を

現在、新青梅街道の道路幅を18メートルから30メートルに拡げる事業が東京都により進められています。

これに伴い、市では、地域の皆様とともに新青梅街道沿道のまちづくりを検討するため、「新青梅街道沿道地区まちづくり協議会」を設置しました。

協議会では、新青梅街道沿道の土地の効果的な利用や、まちの軸としての機能向上を図るための方針、基準等を検討し、「新青梅街道沿道地区まちづくり計画」の案の策定を行います。

そこで、新青梅街道沿道地区のまちづくりを協議会で一緒に検討していただく委員を次のとおり募集しますので、地域の皆様のご意見をまちづくりに生かすため、ぜひご応募ください。

※新青梅街道沿道地区とは、新青梅街道の現在の道路の端からおおむね36メートルの範囲をいいます。

▼募集人員14人

①新青梅街道沿道地区の地区住民のかた（当該地区内に住所のあるかた、当該地区内で事業をしているかた、当該地区内に土地をお持ちのかた、当該地区内に建物をお持ちのかた）10人

②市内に住所のあるかた又は市内で事業をしているかた（①に該当するかたを除く）4人

▼応募資格11次のすべての要件を満たすかた

①応募日現在20歳以上のかた

②新青梅街道沿道地区のまち

応募用紙は、市役所都市計画課・市政情報コーナー、情報館「えのき」、緑が丘出張所、各地区会館・図書館で配布します。また、市ホームページからダウンロードもできます。

▼結果11審査の上、12月中旬に応募者本人に通知します。なお、応募書類は返却しません。

問い合わせは、市役所都市計画課（☎内線273）へ。

③平日の夜間に開催する会議等に出席できるかた

④応募日以前1年間において、本市の委員会等の公募委員でなかったかた

▼開催予定11おおむね112か月に1回程度（平日夜間2時間を予定）

▼任期112月ごろからまちづくり計画策定終了まで

▼委員謝礼11会議1回の出席につき3、000円

▼応募方法11所定の応募用紙に必要事項を記入の上、市役所都市計画課に、直接持参又は郵送、電子メールでご応募ください。

防災行政無線を用いた 緊急地震速報伝達訓練を実施します

12月3日(月)午前10時15分ごろ

市では、地震や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（※ J-ALERT）から送られてくる国からの緊急情報を、防災行政無線を用いて市民の皆様にお伝えする体制を取っています。

9月にも全国一斉の緊急情報伝達試験に参加し、市内の防災行政無線を使用して試験放送を行いました。今回も、緊急地震速報の伝達試験を行います。

12月3日(月)の10時15分ごろに、市内の防災行政無線のスピーカーから緊急地震速報の放送が流れますので、この機会に市民の皆様も地震のときの初動対応について確認をお願いします。

問い合わせは、市役所防災安全課（☎内線335）へ。

※ J-ALERT（ジェイ・アラート）とは、地震・津波や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報を人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

さあ始めよう
生ごみダイエット！

生ごみ処理機器購入補助制度



1日1人当たりのごみの排出量は、735グラムを目標としており、現在ではその目標を大きく上回る820グラムとなっています。

の一部補助を行っています。ぜひこの制度をご利用いただき、生ごみの減量にご協力をお願いします。

▼対象者Ⅱ①市内に住所のあるかた②市内に事務所又は事業所のあるかた③市内に集合住宅等の建設又は管理をしているかた

▼対象機器Ⅰ①微生物により生ごみを分解処理する機器②生ごみを乾燥させて減量する機器

※ディスプレイ機能付き機器

器など対象にならないものもあります。事前に相談ください。

▼補助額Ⅱ①1日当たりの処理能力が10キログラム以上の事業用生ごみ処理機器：購入金額の2分の1（30万円を限度）②1日当たりの処理能力10キログラム未満の家庭用生ごみ処理機器：購入金額の2分の1（4万円を限度）

※購入金額には、消費税を含みません。

▼補助台数Ⅱ1世帯同一年度

※申請は、機器を購入した日から60日以内をお願いします。問い合わせは、市役所環境課（☎内線293）へ。

見守り番ボランティア募集！



平成19年4月に、防犯ボランティアの拠点場所「見守り番大南」「見守り番中原」が開所し、地域のみなさんが活動しています。主に平日の午後に開所し、下校児童の見守りや周辺の防犯パトロールを行うことで、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識が根付いてきています。

実際に、市民の身近で発生する侵入盗や自転車盗などの犯罪の認知件数は、減少しており、見守り活動の効果が着実に現れています。

この地域の輪をさらに大きくしていくため、皆様のさらなるご協力が必要となります。

○見守り番の概要
見守り番では、専用のベース

子ども健全育成サポート事業



幼児期から青少年に至る健全な成長と望ましい人格形成を図るため、これらを阻害する要因となるいじめ、虐待、非行の芽を事前に察知し、防止することを目的として、NPO法人「市民共同学習プロジェクト」子どもひろば」と協働で、子ども健全育成サポート事業を行っています。

▼事業内容Ⅱ
【電話等相談事業】子どもたちの相談を電話や手紙、電子メールで受け付け、内容によっては、保護者や学校と協力して、問題解決に当たります。

【講演事業】依頼により、学校等公共施設で出前事業を実施します。

○プログラムⅡ親子の安全トレーニング（年長児以上対象）
いじめをやめよう（小学校低学年対象）
子どもの暴力防止教育（小学校中学年対象）
いじめと人権（小学校高学年以上対象）
／ティーンズズ

歳末たすけあい運動が始まります

スローガン「みんなでささえあうあたたかい地域づくり」

12月1日から31日までの間、「歳末たすけあい運動」が全国一斉に展開されます。

この「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として住民のかたや自治会、民生・児童委員、社会福祉施設、企業等の協力のもと実施します。

皆様から寄せられた募金は、住民のかたが地域で安心して暮らすこと、地域福祉活動等に配分されます。

なお、12月2日(日)に市内の商業施設において、街頭募金活動を実施しますので、本年も、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせは、社会福祉協議会（☎566）0061へ。

脳トレ健康教室

「中原いきいきクラブ」を楽しんでいます



中原自治会では、市の介護予防健康教室開催の呼び掛けに応じ、月2回月曜日午前10時から、脳トレ健康教室「中原いきいきクラブ」を開催中です。健康体操、ジグソーパズル、川柳等を楽しんでいます。地域の皆さんは、歩いていける場所に脳トレ教室があって大喜びです。みんなで体を動かしたり、日ごろあまり使わない脳を働かせる楽しさに気付いてきました。



情報提供：中原自治会会長 佐藤秀夫さん



中原自治会 自主防災防災会結成！

9月1日に中原自治会が自主防災組織を結成し、9月30日に資器材等の引渡しを行いました。これで、市に25番目の自主防災組織が結成されたこととなります。

問い合わせは、市役所防災安全課（☎内線335）へ。

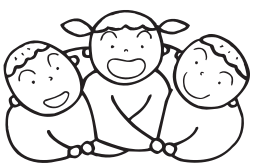


中原自治会自主防災防災会のみなさん

保育料の納期限内納付にご協力を

保育料はお子さんの保育のために直接使われる経費です。納期限（毎月末日）までに納付するようご協力ください。

問い合わせは、市役所子育て支援課（☎内線183）へ。



参加者募集

※原則として、費用の記載のないものは無料です。

精神保健福祉講演会

「障害のあるかたの就労をどうすすめるか」

精神障害のあるかたが雇用
に結びつための方法や、ど
のような支援体制があるの
かといった就労についての講演
会です。

精神障害のあるかたの就労
支援を専門に行っている機関
の現場でのノウハウや、活動
実践をお話しします。また、
精神障害のあるかたを対象と
した市内の支援機関の紹介も
併せて行います。

▼日時 12月7日(金)午後2時
〜4時(1時30分から受付)
▼場所 市民総合センター3
階集会室

▼講師 天野聖子氏(社会福
祉法人多摩棕櫚亭協会理事
長、障害者就業・生活支援セ
ンターオープナー施設長)

▼定員 60人(先着順)
▼対象 市民(在勤・在学者
を含む)

申し込み・問い合わせは、
市民総合センター内障害福祉
課 ☎(590) 1185へ。



講演会 障害者グループ
ホームってどんなところ？
「グループホーム」
「一歩」の9人9色、
親離れ・子離れの道筋

小平市にある重度身体障害
者グループホーム「一歩」で
の生活の様子や体験談をお話
します。お気軽にご参加く
ださい。

▼日時 12月8日(土)午後2時
〜3時30分
▼場所 市民総合センター3
階集会室

▼対象 身体・知的障害者及
びその家族・福祉団体関係者
▼講師 武田嘉郎氏(社会福

社法人ときわ会重度身体障害
者グループホーム「一歩」施
設長)

▼定員 30人
申し込み・問い合わせは、
障害者地域自立生活支援セン
ター ☎(590) 1501・
ファクス(590) 1305
へ。

市民講演会
「今日からできる
メンタルトレーニング！」

すぐに実行できるメンタル
トレーニングのお話しです。
今日1日、笑顔でいられるヒ
ントを見つけに来ませんか。
▼日時 12月1日(土)午後5時

歴史民俗資料館事業のお知らせ

平成24年度「狭山丘陵市民大学」



史館視聴覚室

▼対象 高校生以上の市民
(在勤・在学者含む)

▼定員 30人(申込先着順)

▼参加費 200円

▼講師 新井勝紘氏(専修大
学教授)

狭山丘陵の周辺にも大き
な影響を与えた「自由民権
運動」をテーマに連続講座
(講演会・バス見学会)を
実施します。

第1回・講演会

「三多摩の自由民権運動
と狭山丘陵の村むら」

▼日時 12月1日(土)午後1
時30分〜3時30分

▼場所 東村山ふるさと歴

▼場所 くらホール(市民
会館)小ホール

▼講師 高畑好秀氏

▼後援 武蔵村山市、武蔵村
山市教育委員会、武蔵村山市
体育協会

※座席の数には限りがありま
す。ご了承ください。
問い合わせは、武蔵村山市
歯科医師会 ☎(562) 27
43(平日午前10時〜午後4
時)へ。



(在勤・在学者含む)

▼定員 10人(申込先着順)

▼参加費 200円

※昼食持参

第3回・バス見学会

(狭山丘陵南側地区)

▼日時 平成25年2月16日
(土)午前10時〜午後4時

▼集合 歴史民俗資料館

▼場所 町田市立自由民権
資料館・民権の森ほか

▼対象 高校生以上の市民
(在勤・在学者含む)

▼定員 10人(申込先着順)

▼参加費 200円

※昼食持参

申し込みは11月15日(木)か
ら30日(金)までに電話又は窓
口で受け付けます。

申し込み問い合わせは、
歴史民俗資料館 ☎(56
0) 6620へ。

幼児の一時預かりを行っています

育児中の皆さんでも気軽にスポーツができるようにお子様をお預かり
する時間を設定しています。育児の疲れをリフレッシュしましょう！
問い合わせは、総合体育館 ☎(520) 0082へ。



【申込方法】

- 希望する日の2週前の同曜日午前9時から電話又は窓口で予約をしてください。
- お子様の体調不良などで当日までにキャンセルがあった場合は、随時予約を受付けます。
- 初回のみ、母子手帳又は保険証の確認をします。
- 当日は、子どもの体調確認(検温)をします。熱が高い場合はお断りします。

表 日程等

曜日	日程	時間	場所	対象	定員	料金
月	12/10・17、1/21・28、2/18・25、 3/11・18・25	午前10時〜 午後1時	幼児体育室	総合体育館を利用する保護者の幼児(教室・ 貸切利用・個人開放・トレーニングルーム) ※満1歳から未就学児まで ※お預かりする時間は、保護者のかたが運動 している間に限ります。運動終了後は、速や かにお迎えにお越しくください。	先着10人 ※登録制教室の申込者が 優先です。	子ども1人500円
水	12/5・12・19・26、1/9・16・23・30、 2/6・13・20・27、3/6・13・27					
木	12/6・13・20・27、1/10・17・24・31、 2/7・14・21・28、3/7・14・21・28					

指導者付き個人開放



スポーツを身近に楽しんでいただくため、個人でもスポーツがで
きる時間を設定しています。お一人でお越しの場合でも、体育館職
員がお相手しますのでお気軽にご利用ください。
問い合わせは、総合体育館 ☎(520) 0082へ。

表 開放種目一覧

個人開放種目	曜日	日程	時間	内容
バドミントン広場	火	12/11・18・25、1/8・15・22・29、 2/5・12、3/5・12・19・26	正午〜午後2時	個人個人で集まりバドミントンの練習やゲームができます。 ※用具の貸し出し有り
こどもひろば	水	12/5・12・19、1/9・16・23・30、 2/6・13・20・27、3/13	午後1時〜3時	集まった子ども同士で鬼ごっこやスポーツができます。ボールやフープ などの遊具があります。
卓球広場	木	12/6・13・20、1/10・17・24・31、 2/14・21・28、3/7・14・21・28	正午〜午後2時	個人個人で集まり卓球の練習やゲームができます。 ※用具の貸し出し有り
トランポリン広場	土	12/15、1/12・19、2/2・16・23、 3/2・23	1部 午後1時30分〜2時30分 2部 午後2時45分〜3時45分	順番にトランポリンの体験ができます。家族や友達同士で遊ぶためのボ ールやフープ、縄跳びなどの遊具もあります。 ※1〜2部は続けてご利用可 ※未就学児は保護者の付き添いが必要

※技術指導の広場ではありません。※ご利用の際は、室内用の運動シューズが必要です(付き添いの保護者含む)。

表 施設利用料金(1回)

	市内	市外
大人	200円	400円
子ども	50円	100円

※中学生以下は、子ども料金で利用できます。
※市内に在勤、在学のかたは市内料金でご利用
できます。
※ご利用されるかた(保護者含む)は、すべて
利用料が必要です。

総合体育館のお知らせ

図書館で不用になった

雑誌を譲ります



11月25日(日)
午前10時〜正午

市内各図書館
(三ツ木地区図書館を除く)

図書館で不用になった雑誌を無料でお譲り
します。冊数の制限はありません。なくなり
しだい終了します。

▼対象=市民(在勤・在学者を含む)
問い合わせは、雷塚図書館 ☎(564)
1284へ。

武蔵村山市は、

ハンドボール競技の開催地です

会期：平成25年

10月3日(木)〜7日(月)

会場：総合体育館

スポーツ祭東京2013





デエダラまつりでデビューした

いいことある♪サクッ茶柱

「多摩3市うまいものフェア」でスタンプを集めてもらおう！

狛江市・東大和市・武蔵村山市が連携して、3市のおいしい「食」を紹介する「多摩3市うまいものフェア」で、うまいものを食べてスタンプを集めたかた先着150人に「いいことある♪サクッ茶柱」をプレゼントします。

※多摩3市うまいものフェアの詳細については、市報11月1日号をご覧ください。

★「いいことある♪サクッ茶柱」とは

武蔵村山市民まつり実行委員会では、「市内外に武蔵村山をPRできるもの」「PRのきっかけになる企画」「産学官連携」という趣旨のもと、スイーツプロジェクトチームを立ち上げ、埼玉ベルエポック製菓専門学校のパティシエの先生・学生にご協力をいただき、新たなスイーツの開発に研究を重ねてきました。その結果、“武蔵村山の農産物へのこだわり”

をヒントに「いいことある♪サクッ茶柱」が完成しました。

武蔵村山産の小麦とお茶にスポットを当てたこのスイーツは、形状や素材、食感にもこだわり、武蔵村山産の小麦とお茶をブレンドした生地には餡を包み、しっとりと仕上げました。食べ終えたあとにも豊かなお茶の風味が残る最後までお楽しみいただける逸品です。



デエダラまつりでアンケートの様子

★名前の由来

昔から茶柱が立つことは縁起が良いと言われていることから、これにあやかり、また、花が咲くようにこのスイーツを食べた皆様にも幸せが咲きますようお願いを込めて「いいことある♪サクッ茶柱」と命名しました。

★今後の取り組み

村山デエダラまつりでのアンケート結果及び多摩3市うまいものフェアで実施予定のアンケート結果をもとに、今後、さらにブラッシュアップして、市の地域ブランド認証を目指しています。



デエダラまつりで試食に協力いただいたときの様子

「いいことある♪サクッ茶柱」についての問い合わせは、武蔵村山市民まつり実行委員会事務局（市役所産業観光課）（☎内線224）へ。
多摩3市うまいものフェアについての問い合わせは、市役所企画政策課（☎内線374）へ。

日米交流合同音楽会in武蔵村山

〜夢ひろがるハーモニー〜



市と横田基地内の団体によるジョイントコンサートを行います。

▼日時 12月2日(日)午後1時30分（1時開場）

▼場所 〓さくらホール（市民会館）大ホール

▼定員 〓1,000人（先着順）

▼出演 〓武蔵村山入り天神太鼓保存会、市立第九小学校、武蔵村山少年少女合唱団、さくらホール・ポップミュージック・コミュニティ合唱団、武蔵村山ウイン

ドアンサンブル、横田ミドルスクール、横田ウエストエレメンタリースクール及び米国空軍太平洋音楽隊アジア

▼主催 〓防衛省北関東防衛局

▼後援 〓武蔵村山市、武蔵村山市教育委員会及び東京多摩日米協会

問い合わせは、北関東防衛局企画部地方調整課 ☎048(600)1800（内線2715・2238）へ。

お仕事を探しているかたへ
ハローワークが武蔵村山市に出張します

ハローワーク立川・武蔵村山市合同事業

「第2回ハローワーク立川出張相談会&

就職面接会in武蔵村山」



ハローワーク立川の協力により、「第2回ハローワーク立川出張相談会&就職面接会in武蔵村山」を開催します。

当日は、パソコンでハローワークの最新の求人情報が検索できるとともに、ハローワークの職員に市へ出張してもらい、検索した求人への紹介や就職の相談を受けることができます（職業訓練・失業給付関係の相談を除く）。

また、本就職面接会への参加を希望する市内及びそ

の周辺の企業と直接面接することができま

▼日時 12月18日(火)午後1時〜4時

▼場所 〓中部地区会館（市役所内）401大集会室

内容は、12月初旬からハローワークホームページ（<http://tokyo-hello.worksite.mhlw.go.jp/list/tachikawa.html>）でも確認できます。

問い合わせは、ハローワーク立川職業相談第一部門 ☎(525)8607へ。

官公署だより

■救命講習（北多摩西部消防署） いざというときに備えて、応急手当に関する正しい知識と技術の習得を〓普通救命講習（4時間）：心肺蘇生、AED、窒息の手当、止血等を学びます〓上級救命講習（8時間）：普通救命講習の内容に傷病者管理、外傷の手当等を加えた内容〓応急手当普及員講習（24時間）：救命講習の指導要領を学びます。

お問い合わせは、北関東防衛局企画部地方調整課 ☎048(600)1800（内線2715・2238）へ。

問い合わせは、北関東防衛局企画部地方調整課 ☎048(600)1800（内線2715・2238）へ。

1クートレイン多摩」平成25年1月16日(水)〜24日(木)午前10時〜午後5時（全7日間。日程により変動あり）。定員15人（選考あり）

⑤34歳以下対象「実践！採用担当者へ選ばれる応募書類&面接対策講座」12月19日(水)応募書類対策講座。12月20日(木)面接対策講座。それぞれ午後1時30分〜4時30分。定員30人（予約制・先着順）

⑥30〜54歳対象「実践！採用されるための応募書類・面接対策講座」12月12日(水)午後1時〜5時。定員50人（予約制・先着順）

⑦55歳以上対象「自分を活かす！再就職対策講座」12月5日(水)午後1時30分〜4時30分。定員50人（予約制・先着順）。会場は、②は立川商工会議所、③は昭島市民会館・公民館、④⑤⑥⑦は東京しごとセンター多摩圏 ☎(329)4524

■就業支援（東京しごとセンター多摩）

①全年齢対象「合同就職面接会」12月14日(金)、受付時間午後零時30分〜3時30分。面接会午後1時〜4時。

約20社の企業が参加予定。予約不要。履歴書複数枚持参を

②55歳以上対象（立川会場）面接対策セミナー」12月6日(木)午前10時〜正午。定員30人（予約制・先着順）。

（立川会場）合同就職面接会」12月6日(木)午後1時30分〜4時30分（受付は1時〜3時30分）。約7社の企業が参加予定。予約不要。履歴書複数枚持参を

③女性対象（昭島会場）1日(日)でわかる再就職のポイント」12月17日(月)午後1時30分〜4時30分。定員50人（予約制・先着順）。託児あり

（予約制・対象年齢条件等あり）④30〜44歳対象「就活ワ

■第35回文化祭（都立羽村特別支援学校）11月30日(金)・12月1日(土)午前10時〜午後3時、同校各教室及び体育館。小学部、中学部、高等部の児童・生徒による舞台発表や作品の展示、作業学習で作った製品の販売を行います ☎☎

市議会を傍聴しましょう

第4回定例会 11月29日(木)から開催予定



◎請願や陳情はお早めに

請願・陳情の締め切りは、11月30日(金)です。締め切り後に提出された請願・陳情は、この定例会では審議されませんので、提出はお早めに。

問い合わせは、議会事務局（☎市役所内線512）へ。

▼場所 〓東大和市商工会館

▼講師 〓古川智子氏

▼申し込み 〓11月26日(月)までに武蔵村山市商工会へ。

▼日時 〓12月3日(月)午後7時30分〜9時30分

▼「業績向上のためのメモの取り方・取らせ方」講習会

武蔵村山市商工会から
☎(560)1327

(554)0829・ファクス(555)3853

市内循環バス（MMシャトル）
ワンコイン（100円均一）
運賃試行中！
ぜひご乗車ください！





笑顔で毎日を！（敬老会に参加された皆様）

自立した日常生活のために ご利用ください 高齢者の生活支援サービス

高齢者が地域で安心して自立した日常生活が送れるようにさまざまな生活支援サービスの提供を行っています。
サービスの利用についてのご相談は、市民総合センター内高齢福祉課又はお近くの地域包括支援センターへお気軽にお問い合わせください（下表参照）。

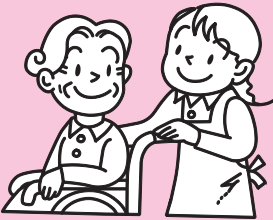


表 主な高齢者生活支援サービス

サービスの種類	サービス内容	対象者	費用
生活支援ヘルパー	週に最大２時間まで、自宅にホームヘルパーを派遣し、家事援助を行います。	在宅の65歳以上の高齢者で疾病等により一時的に、日常生活を営むのに支障があるかた	○230円／1時間 ○生活保護世帯：無料
おむつ給付	紙おむつと尿取りパットを給付します（給付枚数に制限があります）。	在宅の65歳以上の寝たきりのかた等で、常時おむつの着用が必要なかた	○無料
生活支援ショートステイ	市内の施設に短期入所することができず（1回につき7日以内）。	在宅の65歳以上の高齢者で基本的生活習慣が一時的に欠如しているかた、養護者により虐待を受けているかた	○市町村民税課税世帯：520円／1日 ○市町村民税非課税世帯：390円／1日 ○生活保護世帯：無料
食事サービス	月曜日から金曜日まで、安否確認を兼ねて、ご自宅へ昼食をお届けします。	買い物、炊事等が困難な65歳以上の高齢者のみの世帯のかた（要介護等認定を受けているかた及び特定高齢者の候補者として選定されたかた又は特定高齢者として決定されたかた）	○配食費用の2分の1 ○今年度の1食当たりの金額： ・普通食：290円 ・低カロリー食：280円
生きがい対応型デイサービス	月・水・金曜日にシルバー人材センターワークプラザで、趣味活動・健康チェック等を行います。	在宅の65歳以上の高齢者で家に閉じこもりがちなかた（要介護認定等を受けているかたを除く）	○市町村民税課税者：200円／1日 ○市町村民税非課税者：150円／1日 ○生活保護受給者：無料 （昼食代等は実費）
日常生活用具給付	身体機能の低下予防や、介護者の負担軽減のため、シルバーカー等を給付します。	在宅の65歳以上の高齢者で日常生活の動作に困難があり、在宅での生活の質を確保するために用具が必要なかた	○実費（給付限度額以内）の1割 ※給付限度額を超えた分は全額実費 ○生活保護世帯：無料
自立支援住宅改修	日常生活の安全性の確保と介護者の負担軽減を図るため、手すりの取り付け、段差解消・便座取り替え等の住宅改修を行います。	65歳以上の特定高齢者等で動作に困難があり、住宅設備の改修が必要なかた	○実費（給付限度額以内）の1割 ※給付限度額を超えた分は全額実費 ○生活保護世帯：無料
住宅改修アドバイザー	身体機能の状況にあった適切な住宅改修が行えるよう、専門的な立場から助言及び指導を行うアドバイザーを派遣します。	住宅設備改修の必要なかた	○無料
友愛訪問員	訪問員が自宅を訪問し、話し相手になったり相談に応じたりします。	65歳以上の高齢者のみの世帯で地域社会との交流が少ないかた	○無料
福祉電話	緊急連絡の確保や地域社会とのコミュニケーションを図るため、電話の貸与及び基本料金を助成します。 ※NTT契約者のみ	70歳以上のひとり暮らし（市民税非課税世帯のみ）等で市内に親族がいないかた ※電話の貸与は、現に電話を保有していないかたが対象です。	○通話料は実費
緊急通報システム	緊急時に東京消防庁又は民間のコールセンターに直接通報できる機器を設置します。	65歳以上の高齢者のみの世帯で、慢性疾患により常時注意が必要なかた ※原則として近隣にお住まいのかたに協力員として活動していただきます。	○市町村民税課税者：機器設置費用の1割 ○市町村民税非課税者及び生活保護受給者：無料
火災安全システム	火災による緊急事態に備えて住宅用防災機器（火災警報器・電磁調理機器等）を給付します。	65歳以上の寝たきり高齢者及び高齢者のみの世帯で、心身機能の低下により、防火等の配慮が必要なかた	○市町村民税課税者：機器設置費用の1割 ○市町村民税非課税者及び生活保護受給者：無料
徘徊高齢者等家族支援サービス	位置探索システムにより、徘徊高齢者の居場所情報を家族に提供します。	徘徊する認知症高齢者と同居し介護する世帯のかた	○市町村民税課税世帯：利用料金の5割（別途、情報提供を受ける際の電話通話料は実費） ○市町村民税非課税世帯及び生活保護世帯：無料

※各サービスの給付については、面接調査等を行い決定します。
※対象者、所得制限等詳細については、市民総合センター内高齢福祉課又は地域包括支援センターへお問い合わせください。

表 市民総合センター内高齢福祉課・地域包括支援センターのご案内

問い合わせ先	対象地域	電話番号
市役所高齢福祉課 （市民総合センター内）	市内全域のかた	☎（590）1233
西部地域包括支援センター （特別養護老人ホーム伊奈平苑内）	伊奈平・岸・残堀・中原・三ツ木・三ツ藤・大字三ツ木（横田基地内）地域のかた	☎（560）3931
北部地域包括支援センター	中藤・神明・中央・本町のかた	☎（516）0062
南部地域包括支援センター （市民総合センター内）	榎・大南・学園地域のかた	☎（590）1477
緑が丘地域包括支援センター （緑が丘高齢者サービスセンター内）	緑が丘地域のかた	☎（590）5151

■QRコード

情報提供サービスの
登録者を募集します
（犯罪・災害・市政情報メール）

【登録方法】
下記のアドレス又は上記のQRコードから、空メールを送信してください。受付メールが届きますので、登録フォームから手続きをしてください。

【問い合わせ先】
市役所秘書広報課（☎内線315）

■新規登録URL
musashi@req.jp

後期高齢者 医療制度

医療費通知が
送付されます

医療費通知は、被保険者のかたへ健康と医療に対する理解を深めていただくとともに、医療費について関心をもっていたため、医療機関を受診した際の医療費の総額をお知らせするものです。

次の①又は②に該当するかたには、11月中旬に東京都後期高齢者医療広域連合より送付されます。

①平成24年1月から6月までの間に、医科、歯科、調剤、訪問看護でかかった医療費（10割入）の合計金額が30、000円を超えた月があるかた

②平成24年1月から6月までの間に、治療用器具（コルセット等）、柔道整復、あんま・マッサージ、はり・きゅう等で療養費の支給を受けた月があるかた

今回の通知には、平成24年1月から6月診療分の医療費が記載されますので、受診状況等をご確認いただき、日ごろの健康管理にお役立てください。

問い合わせは、東京都後期高齢者医療広域連合保険部保険課点検係 ☎03（3222）4482又は市役所保険年金課（☎内線135・138）へ。

